

夢をかたちに

令和5年度
出水商業高等学校
進路指導部
進路便り
No.10 2024.2.27

3年生進路体験発表会

2月16日（金）に3年生進路体験発表会を開催しました。今年度は、4年ぶりに体育館で実施しました。進路を決定する上で大変だったことや後輩へのアドバイスなど、熱く語ってもらいました。目標を立て、それに向かって取り組んだ3年生の言葉には力がありました。1,2年生の皆さんも「夢をかたちに」できるよう取り組んでいきましょう。クラスルームで先輩方のメッセージが配信されているので、時間があるときに確認しておきましょう。

【井本 さくらさん（米ノ津中学校） マルイ農業協同組合 情報処理】

受験報告書を確認し、予想されるテーマで作文の練習をした。校内選考や本番の試験は、日頃の学校生活での態度や学習面もしっかり見られているため、その時だけやれば良いという甘い考えを持たない方がよい。日頃から挨拶、返事など当たり前のことを当たり前にする。なるべく学校も休まない。定期テストでも80点以上取れるようにする。こうすることで進路選択の時に選択肢の幅が広がり、自分のやりたいことをより実現することができる。



【小出水 優花さん（米ノ津中学校） 株式会社ティアンドティ 一般事務および軽作業】



働きたい企業が見つかった際に成績が理由で進路決定を諦めなければならないということがないように、1年生の時から、文字力テスト・定期考査・資格取得に励んだ。1・2年生に意識して欲しいことは2つある。まず、目上の方と沢山会話をする。正しい言葉遣いは日頃から気を付けなければ、あとから苦労する。次に、資格を多く取ること。履歴書にも沢山書くことができ、高校生活で資格取得を頑張ったと自信を持って面接で言うことができる。

【大谷 美裕さん（出水中学校） 鹿児島レディスカレッジ ヘアアート学科】

エントリーシートや面接など沢山苦労したが、担任・副担任の先生に協力いただき、満足のいくものになった。毎日辛いと思うことはあったが、高校入学時に目標としていた3年間皆勤を達成することができた。諦めずに挑戦することで、達成できたときは自分の成功体験が増え、未達成でも自分の経験値が増えるということ確かだと実感できた。「やりたい」と思ったときに1歩踏み出すタイミング。そのタイミングを見逃さないように、自分自身と沢山話をしてほしい。



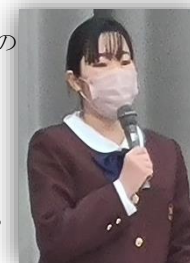
【浦 雪姫美（出水中学校） 株式会社鹿児島銀行 事務及び営業職】



担任の先生にボランティア活動をするのを勧めてもらい、クレインパークのジュニアスタッフとして参加を申し込んだ。その結果、面接ノートの作成も順調に進み、面接練習も少しずつ上達できるようになった。1・2年生には次の4つを意識して欲しい。まず、面接練習は沢山すること。次に、現実から逃げようとしないこと。現実には甘くない。次に、受験対策には早めに取り組むこと。最後に、先生方や家族、友人など周りへの感謝の気持ちを忘れないこと。自分の行動や苦労に対し、いつか必ず相応の結果が返ってくる。それまでは努力を怠ることなく頑張りたい。

【中田 空（高尾野中学校） ABC パレス ウエディングプランナー】

第1志望の会社を曖昧な気持ちで決めてしまっていたため、志望動機の作成に苦労した。本番は、自分の中で手応えがあったが、結果は不合格だった。頭は真っ白になったが、感情を整理する暇も無く、その日には次に受ける会社を選ばなければならなかった。進路指導の先生の紹介で新たな求人票に出会うことができた。内定の通知をいただいたときは、とても嬉しく、安心した。実際に働くことを見越しての研修や従業員の方からの細かい指導など、とても充実しており、この会社を選んで良かったと心から感じている。求人は沢山あるが、落ちないと言うわけではない。1人1人が危機感を持って取り組んで欲しい。



【中野 新太郎（阿久根中学校） 鹿児島医療福祉専門学校 理学療法学科】



面接練習を沢山こなしたが、コロナウイルスに感染し、思うように練習ができないこともあった。友人達と一緒に面接練習を繰り返し、自信を付けることができた。本番は緊張したが、これまで練習してきたことが自信になっており、伝えたいことを全て面接官に話すことができた。「自分のしたいこと、やりたいことを明確にすること」「目標を達成するまでは諦めないこと」だ。自分の夢を成功させるために失敗を恐れたりせず、その失敗を糧にして努力をしてほしい。

【松下 未来（鶴荘学園） 出水市役所】

3年生の夏休みは、KBCの公務員セミナーに通い、過去の頻出問題や効率的な問題の解き方などを教わった。出水市役所はSCOAという種類の筆記試験を採用しているため、この勉強で本当に合格できるのか不安があった。不安を薄めるために、SCOAの問題集も解くようにした。また、面接試験の練習は、回数をこなすと慣れてきて、ハキハキと伝えることができるようになった。1番痛感したことは、早めの行動の大切さだ。少しでも早く動くことが後に自信や実力に繋がっていくと思う。



【馬見塚 心希（れいめい中学校） 鹿児島県立短期大学 商経学科】



夏休みは、ほぼ毎日学校に行き面接練習を行った。校内選考会を突破してから本格的に小論文対策に取り組んだ。もともと文章を書くことが苦手な私にとって、論理的に書く小論文は作文よりもさらに難しく苦痛だったことを覚えている。志望先を早く決めていれば、試験内容に対し、十分な準備が出来たと思う。先輩方から志望先は早く決めた方が良いと聞いてきたが、その言葉の意味を痛感した。第二部での合格だったが、進路が決まり安心した。先生方やクラスメイト達のおかげだ。1・2年生は、あのときこうしていれば良かったと後悔しないように1日1日を大切に過ごして欲しい。

【濱上 詩帆（米ノ津中学校） 鹿児島純心大学 人間教育学部 教育・心理学科】

面接・小論文など練習することは沢山あった。校内選考会に向けて沢山練習を重ねていたため、自信がついた。小論文の書き方としてやりやすかったのはPREP法だ。この方法を使うことで、相手に簡潔に伝えやすくなった。私は多くの人に支えられてきた。共に面接練習に励み、自分のことのように考えてくれた友人や、対策に付き合ってくださった先生方。そして私の背中を押し学費を工面してくれた両親。沢山の人の関わりがいつか自分の未来をかたどっていくことを、心の片隅に置いて生きていって欲しい。



3年生の皆さん
ありがとうございました！！

2年生職場体験学習

1月30日から2月2日までの4日間、出水・阿久根・長島方面の各事業所に

分かれて職場体験学習を行いました。実習中は事業所の方々の説明やアドバイスをもとに、真剣に取り組む姿が見られました。2年生の日誌を読むと4日間の経験を通して、その仕事（働くこと）の意義や面白さ、大変な部分などについての気づきが書かれていました。また、実習中の失敗から自分自身に足りないものを捉えている人もいました。その気づきを大切に、今後の進路決定に活かしてほしいと思います。職場体験学習を終えた2年生は、「働く」ということの様々な意味について考える良い機会なのではないでしょうか。2年生だけではなく、1年生のみなさんも「働く」ということについて考えてみましょう。

